

7. 各学科の3つのポリシー

理学療法士学科（昼間3年制／夜間4年制）

ディプロマポリシー

卒業時には、国家試験に合格し、理学療法士として働くうえで必要な基本的資質を身につけている。

1. 理学療法士としての基本的な知識・技術・態度を体系的に理解し修得できている。
2. 医療・福祉現場での課題を発見し、科学的根拠に基づいた理学療法を実践し、課題解決に向けて行動できる。
3. 医療・福祉分野における専門職業人としての共感的態度および職業的倫理観を持ちつつ、他職種と協同して行動できる。

カリキュラムポリシー

理学療法に必要な知識や技術、態度を身につけながら、臨床現場でそれらをどのように活用すべきかを考えさせたい。最終的には、臨床における課題を自ら発見し、解決できる能力を養いたい。

1. 初年次には、主に理学療法士の基礎的知識を修得することを目的とした科目を配置する。
2. 初年次には、自己管理能力・協調性・コミュニケーション力といった、理学療法士に必要な基本的資質を修得する。
3. 評価年次には、理学療法士として働くための実践的な知識・技術・態度を修得することを目的とした科目を配置する。
4. 評価年次には、医療・福祉の各分野で活躍する理学療法士を指導者とし、臨床現場で必要な検査測定、評価に関する知識・技術、態度を修得する。
5. 臨床年次には、臨床現場での理学療法の実践を通じて、自ら課題を発見し解決する力を養成する科目を配置する。
6. 健康の維持・増進、疾病および障害の予防と治療に対し、科学的根拠に基づいた理学療法を実践するための基本的資質を修得する。

アドミッションポリシー

理学療法を通じて医療・福祉分野に貢献しようとする意欲が高く、そのために必要な知識や技術、態度を学ぼうとする意欲のある人、また、主体的に課題を発見し、仲間と協同しながら課題解決しようとする意欲のある人を受入れたい。

1. 理学療法士に必要な知識、技術、態度の修得に意欲のある人。
2. 理学療法士に必要な課題解決能力獲得の為に、高等学校卒業相当の基礎的学力を有する人。
3. 幅広い年齢層に応じたコミュニケーションのための基礎的素養を持っている人。

作業療法士学科（昼間3年制／夜間4年制）

ディプロマポリシー

入学した全ての学生を、人や社会との繋がりを重視した高度なマネジメント能力を有した作業療法士に育て上げることを教育方針とする。繋がりを重視した作業療法士は、変動する社会における複雑な問題を、人や社会との繋がりの中で作業療法の持つ包括的視点、問題解決能力を生かし、つまり生活行為向上を図ることを以って問題解決を図るものである。本学科に配置された全ての科目を履修し、人や社会との繋がりを重視した作業療法士に求められる能力を備えたものに専門士を授与する。

【人や社会との繋がりを重視した作業療法士に求められる能力】

1. 物事に創造的に取り組むためのコミュニケーション能力を有していること。
2. 専門的知識・技術を基盤に置いた実践的問題解決能力を有していること。
3. 作業を探究する態度を有していること。
4. 倫理観、自己研鑽、発信力など人や社会と繋がる力を有していること。

カリキュラムポリシー

対話を基盤に置いた実践的カリキュラムとして、専門職者としての高度な知識・技術・態度の修得及びそれらを統合・発展させるための実践的教育によって特徴付けられるカリキュラムを展開する。

1. クラス担任制、教員との面談や講師との対話による繋がりの教育を提供します。
2. 講義・演習・学内実習など実務家教員の専門授業による確かな学力の育成を行います。
3. 臨床現場である病院・施設との連携による育成型臨床実習を行います。
4. 1年生からのゼミ制度によるテーマ別学習や卒業研究を行います。
5. アメリカの提携大学による国際教育を行います。

アドミッションポリシー

コミュニケーションを基盤に置いた育成型入試として入試を位置づけ、養成人材像である人や社会との繋がりを重視した作業療法士の育成に向けて、以下の人材を受け入れる方針である。

1. 本学科養成人材像である「人や社会との繋がりを重視した作業療法士」への理解を示し、志向性を持つ。
2. 対人援助職を目指す上で必要な基本的コミュニケーション能力の必要性に理解を示す。
3. 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、基礎学力を有していること。

視能訓練士学科（昼間１年制）

ディプロマポリシー

全ての教科課程科目を取得し、視能訓練士として自ら考え、学び続ける意欲を備えた者に卒業を認定する

1. 視能訓練士国家試験に合格する能力を有している。
2. 医療従事者として正しい倫理観を持ち、自律した社会性を備えている。
3. 患者を慈しみ、責任感と充実感を持って職務に従事できる。
4. 視能訓練士としての能力、知識の向上を目指し、学び続ける意欲を有している。
5. 病態を正しく理解し、理論に基づいた医療行為ができる。
6. チーム医療を理解し、将来に向けてマネジメント能力を発揮できる。

カリキュラムポリシー

眼科領域における基本的な知識、技術の習得はもとより、自ら考え、学び続ける意欲と医療従事者としての倫理観を育成できるよう科目配置をしている。

1. 授業、クラス活動を通じ、挨拶、情報管理、期限・時間厳守、整理整頓、報告の重要性を育む（日直業務、清掃、学校内及びクラス内ルールの制定）
2. 生理光学分野に関して理論に基づいた技術の習得を目的とした実技指導を実施する（実技指導→レポート指導→実技チェック→フィードバック）
3. 臨地実習を通じ、患者を思い、慈しむ気持ちと対人援助に対する楽しさを伝える
4. 日々発展する医療業界における最新の治療や検査機器について教授する授業を実践する。
5. 複数学科合同及びクラスでのワークを実施し、目指す職業の可能性を見出す力や他職種理解、自ら発信する行動力を育成する
6. 滋慶学園のグループ力の活用と少人数指導の実施による効率的な国家試験対策を実践する（滋慶統一模試、コクトレ、直前習熟度別補講）

アドミッションポリシー

視能訓練士の業務、責務を理解し、意欲と興味を持って学び、考えることの出来る人材を受け入れる方針である

1. 視能訓練士の業務に関心と興味を持ち、理解する努力ができる人
2. 意欲的かつ積極的に学び続けられる人
3. 集団での活動経験があり、適切な倫理観とコミュニケーション能力を有している人
4. 医療・福祉の分野に対し、広く興味と探究心を有している人

視能訓練士学科（昼間3年制）

ディプロマポリシー

視能訓練士として必要な倫理観・向上心・知識技術を有し、ひとりひとりの患者に合わせた検査やケアを実施する能力を備えたものに専門士を授与する。

1. 医療倫理観に基づく基本的なマナーとコミュニケーション力を身につけている
2. 社会人基礎力を身につけ、求められていることを正しく理解し行動することが出来る
3. 国家試験に合格できる専門的知識と患者に対して適切な判断と検査が出来る知識を有している
4. 視能障がいを持つ人々の全体像を的確に捉え、柔軟に対応できる能力を有している
5. 課題発見でき、自主的に探究しようとする向上心を有している
6. 他職種や地域、国際社会に関心を持ち、広い視野で物事をとらえようとする視点を有している

カリキュラムポリシー

基本的知識技術を習得し、主体的に経験や実践を重ねることで応用的、発展的能力を育成できるよう科目配置をしている。

1. マナー教育、キャリア教育を通して人間的成長とキャリア設計を支援する
2. 国家試験対策授業で国家試験に必要な知識を身につける
3. 検影法を代表とした視能訓練士にしかできない卓越した技術を身につける
4. 総合実習における症例検討を通して、soap方式思考能力を身につける
5. 学外での主体的な学びを通して汎用的能力を育てる
6. ボランティア活動への参加を通し、医療人として求められる観察力と気づきを養う

アドミッションポリシー

視能訓練士の職責を理解し、視能訓練士として社会貢献する為に、主体的に取り組む姿勢をもっている人材を受け入れる方針である。

1. 心身ともに健康で、明るい笑顔で人と接することができる人
2. 他者への気配りとサービスマインドを持ち、専門職として社会貢献したいと考える人
3. 向上心を持ち、目標に向かって継続した努力ができる人
4. 視能訓練士の勉強を理解する為の最低限の学力(高校卒業程度)を持っている人

言語聴覚士学科（昼間２年制）

ディプロマポリシー

配置された教育課程単位を全て取得し、且つ医療福祉専門職種として卒後も学び続け、社会・地域に貢献できる言語聴覚士を輩出していく。

1. 言語聴覚士国家試験に合格できる能力と何事にも積極的に学習する姿勢を有している。
2. 言語聴覚療法に必要な知識・技術・態度を身につけている。
3. ことばやコミュニケーションに問題を抱えた方々に対して共感的献身的態度を有している。
4. 他職種と連携をとり、協働して働くことができるコミュニケーション能力を有している。
5. 言語聴覚士として社会・地域に貢献するため学術団体や職能団体または患者・家族から主体的に学び続けられる能動性を身につけている。

カリキュラムポリシー

専門基礎および専門知識を主体的能動的に修得するとともに社会人として求められる資質を養成し、関係者に求められる人材を育成できるよう科目配置をする。

1. 医学全般の基礎的な知識の習得が行えるような科目を設定する。併せて、言語聴覚療法の専門的知識を学習し、基礎と専門知識の結びつきを修得する。(DP1、2)
2. ボランティア・見学・評価・臨床等あらゆる実習の場を通し、言語聴覚士の役割と責任を修得する。(DP3)
3. 主体的な学びを通して検査・評価・指導の言語聴覚療法の一連の基本的流れを修得する。(DP1、2)
4. コミュニケーション障害の多様性を理解し障害に応じた言語聴覚療法の技法を身につけ、患者、家族に貢献できる人間性をはぐくむカリキュラムと実習の場を提供する。(DP2、3、4)
5. 他職種の仕事内容を知り、他職種協働の意義を修得する。(DP4、5)

アドミッションポリシー

学士の能力を有する者で、本学の建学の理念および特色を十分に理解し、対人援助職として全ての人々を尊重できる人材を受け入れる方針である。

1. 豊かな人間性を持ち、人を愛し謙虚な姿勢で物事が考えられる人
2. 医療、福祉職として、主体的に新しい知識・技術の研鑽に努めようとする人。
3. 他者の意見を否定せずに傾聴し、その中から適切な意見や方針を出せる人。
4. 相手の立場に立ち、他者と協調して行動できる人。

診療情報管理士学科（昼間3年制）

ディプロマポリシー

卒業時には広い視野を持った診療情報管理を通じて医療の発展に貢献できる能力を、また将来的に医療経営に関わっていける能力を備え所定の単位を修得した者に専門士を授与する

1. 豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること
2. 常に改善、問題提起、問題解決力を備え訴求できる能力を有していること
3. 診療情報管理専門職として知識・技術・技能を身につけていること
4. 他医療職種との必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働して遂行できる能力を有していること

カリキュラムポリシー

医療・福祉・健康に関する知識と診療情報管理士として必要な知識・技能を修得し、更には医療機関運営に必要なデータ分析をできる教育課程を編成している

1. 医療・福祉・健康、経営分野に関連する知識を体系的に学べるようにしている
2. 医療情報技師、診療報酬請求事務能力認定など、医療機関で即戦力として活躍するための資格、知識、技術を取得できるようにしている
3. 高度専門分化の進む医療界で活躍するための実務教育プログラムを導入している
4. 医療ツーリズムの増加も見込まれ、国際的全人的な視野を持ち、豊かな人間性を養う

アドミッションポリシー

診療情報を取り扱う専門職としての職責を十分に理解し、主体的に行動出来る人材を受け入れる

1. 診療情報管理に関する高い専門性を身につけたい人
2. チーム医療の一員として医療機関や関連機関に貢献したい人
3. 医療、情報処理分野に感心を持ち、医療専門職に強い思いがある人
4. 常に改善、未来的発展的な思考を持てる人

専攻科（昼間１年制）

ディプロマポリシー

診療情報管理士・社会福祉士のダブルライセンスにより卒業時には広い視野を持ち医療・福祉の発展に貢献できる能力を、また将来的に経営に関わっていける能力を備え所定の単位を修得した者に修了書を授与する

1. 物事に関して主体的に取り組むことができる能力を有していること
2. 自ら考え行動できる能力を有していること
3. 医療・福祉の専門職として知識・技術・技能を身につけていること
4. 他医療職種との必要なコミュニケーション能力を有し、地域包括ケアでも業務を遂行できる能力を有していること

カリキュラムポリシー

医療・福祉に関する知識と専門職として必要な知識・技能を修得し、更には運営に必要なデータ分析、経営戦略をたてることのできる教育課程を編成している

1. 医療・福祉・の経営分野に関連する知識を体系的に学べるようにしている
2. 社会福祉士の資格、知識、技術を取得できるようにしている
3. 地域包括ケア等で活躍するための実務教育プログラムを導入している
4. 経営分析が行え、各施設にコンサルティングが実施できるカリキュラムを導入している

アドミッションポリシー

社会福祉士専門職としての職責を十分に理解し、主体的に行動出来る人材を受け入れる

1. 社会福祉士に関する高い専門性、多岐の分野の知識を身につけたい人
2. 地域包括ケアの一員として医療・福祉機関や関連機関に貢献したい人
3. 福祉の専門職のみならず医療にも興味を持ち、多くの知識をいかしたい人
4. 常に改善、未来的発展的な思考を持てる人